

(別紙4(2))

事業所名：グループホーム 福治の里

目標達成計画

作成日：令和 3 年 8 月 16 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	日常的に利用者や職員が地域活動に参加する機会が少ない。	町内会の活動や地域の行事などに入居者とともに参加し、入居者が地域とつながり続けられるようにする。	町内会の行事など地域の情報収集を行ない、コロナ感染症終息後スムーズに活動が開始できる準備をして置く。利用者さんとの散歩など、外に出る機会を増やし、馴染みの関係作りを図る。	12ヶ月
2	20	気付きを持って居室の環境整備や健康管理に心配りが出来る職員の感性をさらに磨く	個別・少人数での外出支援を行い、外部環境に触れることで、ホーム内の居住空間をより快適なものとする。	コロナ禍であっても、できる外出支援を考察、実施する。中庭・玄関前などを利用して、日常的に五感を意識・刺激しながら外気に触れる時間を持つ。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。